

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成21年4月号

編 集
発 行 人

大井 利夫

〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3

社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.hospital.or.jp>

受付時間

9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(送料共)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

社団法人 日本病院会 通信教育部

診療録を作成する側、整理・管理する側

壁 谷 悠 介

東京都済生会中央病院 内科

東京会場 基礎課程(臨床医学各論Ⅲ) 講師

東京の会場で医学各論のスクーリング講師を担当させていただき3年となります。講義では毎年お集まりいただく方の人数に圧倒されます。東京会場だけでもこれだけの大人数の方が診療情報管理士を目指して勉強されているのだということを知り、こちらも準備万全にして望まねばと授業の前には気の引き締まる思いがします。

このような機会は私の日常には少なく、普段はほとんど病院で診療に従事しています。内科医の業務は問診、診察、記録。この3つが基本です。この中で記録というのは手間がかかりますが、決して怠ってはならない重要な業務です。単調な診療もあれば思い悩む時もありますが、我々は日々診療を診療録に記します。

毎日の積み重ねからできた診療録を読み解き、効率よく医療情報として管理していただくことが診療情報管理士の活躍の場ではないでしょうか。

診療録の整理、管理には技術が必要です。病態、用語、使用している薬品等の理解、単純にカルテを読んで理解するだけでなく、これらを適切な傷病名で分類し、診療情報として管理する。医学全般の知識、医療情報処理、情報管理の技術等、今診療情報管理士に求められていることは決して容易なものではないと思います。

現在の医療は検査、治療技術の発展で診療によって発生する情報量が日々膨張しています。この膨大な情報を効率よく処理、管理する能力は貴重であり、今後の医療はこの職種なしには成り立ちません。皆さんがこの分野に向学心を持って勉強していただき、また診療情報管理士の重要性を医療現場でアピールし、認知度を高めていただきたいと思います。

私のような診療録を作成していく立場としても改善していくべき点があります。難解な医学用語や略語等を使ってカルテを記している場合が少なくありません。これは後にカルテを整理するときの支障となるはずで、理解しやすく記載することを医師・看護師に徹底していく必要があります。診療録を作成する立場、整理・管理する立場、お互いに診療録という大切な記録を通して協力し合い、膨大な診療情報の中でよりスムーズに効率よい診療が行われるようにしていかなければならないと思います。